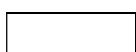


新たな牛のメタン排出量算出式を開発しマニュアル化 —牛のゲップ由来メタン削減技術開発の加速化に期待—



農研機構は牛のルーメン発酵由来メタン排出量を、搾乳ロボット等で測定した呼気中のメタン/二酸化炭素濃度比から求める、従来算出式より使いやすい算出式を開発しました。農研機構が代表を務める気候変動緩和コンソーシアムは、この成果も含めてメタン推定マニュアルを公表しました。本マニュアルを用いて牛からのメタン排出量を求めることで、より簡便にメタン排出量の個体差や飼料によるメタン排出量の違いを比べることができます。

1

2

1

1

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/nv-adpans/p-phm

問い合わせ先など

TEL 0287 37 759

TEL 082 424 795

TEL 055 55 1511

TEL 027 288 2222

TEL 0790 47 2427

TEL 029 838 8292

e mail kdnrils@aro.affrc.go.jp



TV

開発の社会的背景

1 1 200 80L 20
CO 4 5% CO
3 200

研究の経緯

1
4 / 1

研究の内容・意義

1 4 2 5
3 1
1
2 2

2

$$\frac{L}{+509x} = \frac{5070536x}{lg + 876} \quad 6 \quad lg'$$

3

参考図



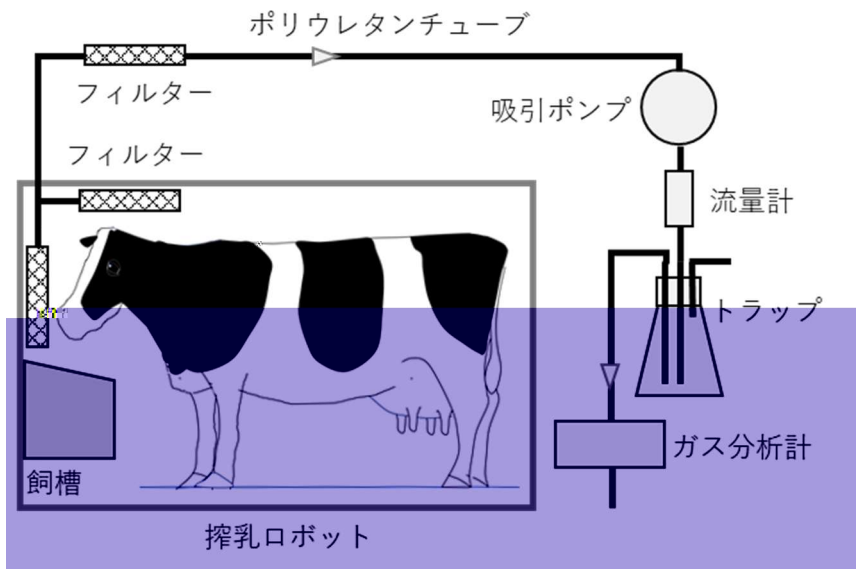
1



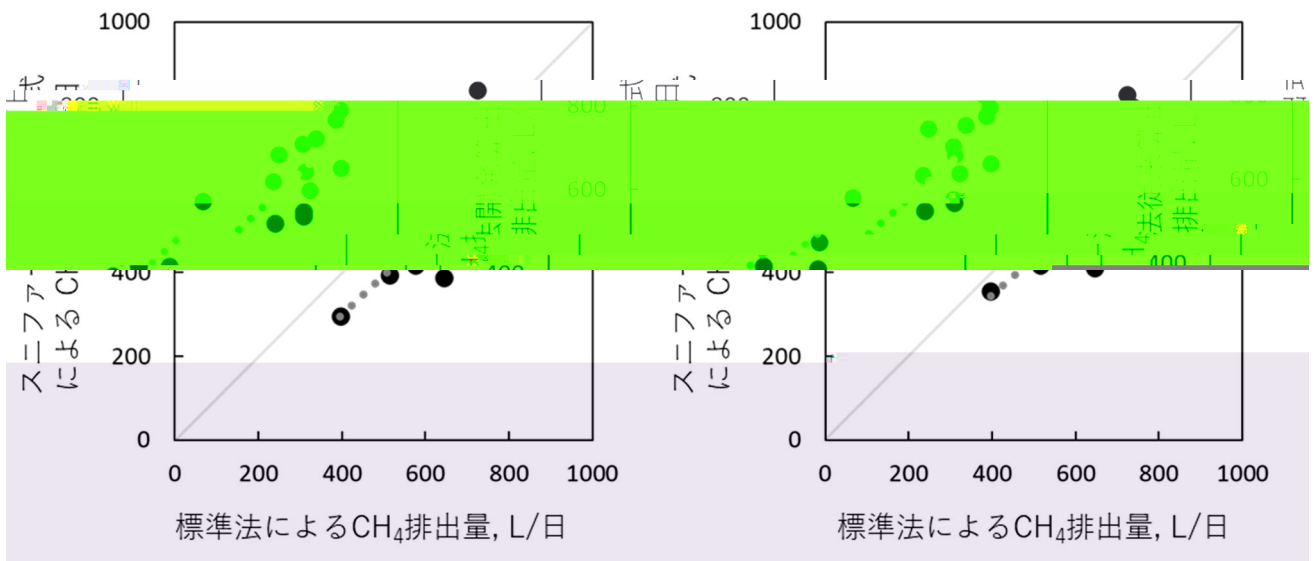
2



3



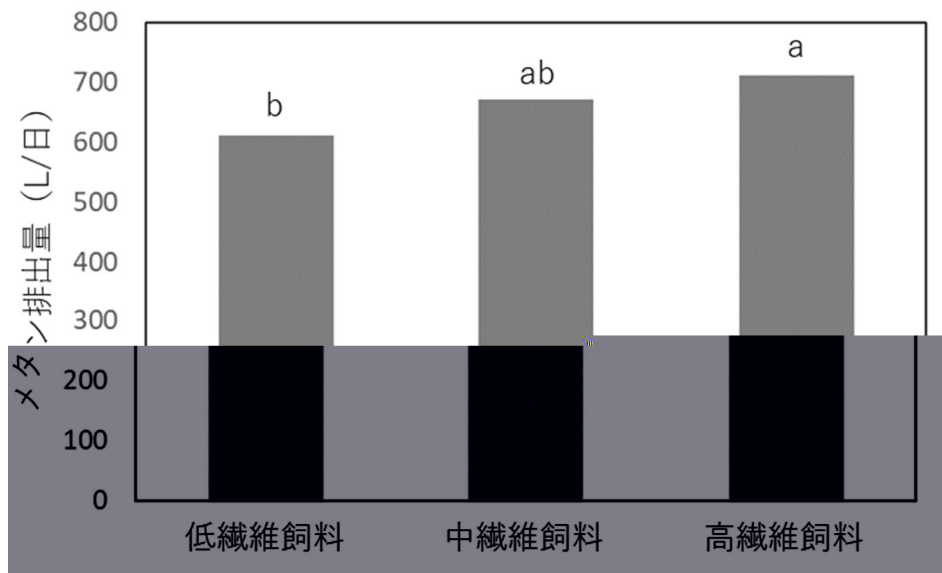
1



2
CH

† Mben, 2010 $Y=0.74X-26.25$ $R^2=0.69$ $p<0.01$
 $Y=0.81X-22.13$ $R^2=0.69$ $p<0.01$ R^2

† CH $L/3 \times 10^3 = CH/CQ \times 180 \times 24 \times 56 + 22 \times FM \text{ kg}$
 $+1.6 \times 10^5 \times 10^3$



3

$P < 0.05$